

バーコードラベル作成ソフトウェア LabelStar Pro V3.1 を開発し、10 月から販売開始。 新標準流通シンボル Databar、料金代理収納バーコード GS1-128 に対応。

バーコードシステム開発のアイニクス株式会社(東京都目黒区大橋 1-2-6 電話 03-5728-7500 代表取締役 平本純也)は、Windows 7 対応のバーコードラベル作成ソフトウェア LabelStar Pro 「ラベルスタープロ」バージョン 3.1 を開発し、10 月 1 日より販売開始します。

LabelStar Pro は、国内外の主要なバーコード(17 種)と 2 次元シンボル(9 種)及び、日本と米国の郵便バーコードを作成することができます。バージョン 3.1 の特長は、省スペース流通標準シンボル GS1 Databar (旧称 RSS) 医薬品標準バーコード GS1 Databar コンポジット (旧称 RSS コンポジット) そして、料金代理収納バーコード GS1-128 に対応していることです。

GS1 Databar は、従来の JAN コードに比べ最大 8 分の 1 のサイズにできる省スペースシンボルで、GS1 Databar Expanded は、有効期限やロット番号等の付加情報も入れることができます。また、GS1 Databar コンポジットは、GS1 Databar と 2 次元シンボル MicroPDF417 を合成したシンボルで、表示スペースの少ないアンブルやバイアル(小瓶)でも表示できます。料金代理収納バーコードは、コンビニエンスストアの振り込みに使用するバーコードです。

LabelStar Pro は、ラベルのデザイン機能、印刷データ作成機能、印刷ラベルの編集機能、及び、他のアプリケーションソフトとの連携機能を持っています。したがって、どんな複雑なラベルでも簡単にデザインでき、表形式のデータ画面に入力されたデータに基づいて連続的にラベル印刷できます。また、プリンタの解像度に合わせてバーコードを作成する機能により、高精度のバーコードを印刷することができます。バージョン 3.1 では、レーザプリンタで印刷できる医療用リストバンドのテンプレートを提供しましたので、お手持ちのプリンタで簡単にリストバンドが作成できます。

流通標準バーコードでは、有効期限やロット番号等の識別子を括弧で括ります。したがって、通常、バーコードと目視文字を別々に作成し合成します。しかし、LabelStar Pro では、取り除き文字機能により目視文字から括弧を自動的に取り除いてバーコードを作成できますので、操作が簡単であると共に、データ作成ミス回避できます。また、バージョン 3.1 では、共通商品コード(GTIN)と料金代理収納バーコードのチェックデジットも自動計算できるようにしました。これらのチェックデジットは、バーコードをチェックするためのものではなく、データをチェックするためのものです。

LabelStar Pro バージョン 3.1 の標準価格は、68,000 円(税別)で、バーコードプリンタ用のラベル作成ソフトウェアの半額以下になっています。また、従来のバージョンをお手持ちのユーザに対しては 28,000 円でバージョンアップサービスも提供します。本製品は、直販、代理店、流通チャネルによる販売の他に、プリンタメーカーへのライセンス提供により、初年度 1000 ライセンスの販売を計画しています。



LabelStar Pro のデザイン画面



Databar



Databar Stacked



Databar Limited



Databar Expanded



Databar コンポジット



(91)91235-012345678901234567890 1
010331-0-123000-1

料金代理収納バーコード



バイアルのラベル例



食肉のラベル例



リストバンドの例